

事業評価シート

番号 1240010 - 001

【1.基本情報】

事業名	市営墓地管理				
担当部名	自然共生部	担当課名	自然共生政策課		
総合計画政策	快適な生活環境づくりを推進します		政策コード	2 - 6 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	市営墓地施設の維持管理	
事業の内容	施設内外の巡視及び警備、墓参者の対応、施設管理 施設内のごみ収集、雑草引き、樹木剪定、補修作業等	
事業の対象	何を	市営墓地
	誰に (対象者・対象者数)	墓地使用者
	どのくらい (具体的な 数値で)	利用者の利便性・安全性の向上を図る
平成29年度 (実施内容)	施設内外の巡視及び警備、墓参者の対応、施設管理 施設内のごみ収集、雑草引き、樹木剪定、補修作業等	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,670	260	7,904	260	8,242	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	7,670	260	7,904	260	8,242	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	管理業務	2,830	2,822	2,822
	清掃維持	13,905	13,905	13,950
	修繕・工事費	34,230	25,443	36,427
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
		849	807	667
計(D)=B+C		67,326	54,660	62,959

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	74,996	62,564	71,201

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	17,050	13,429	13,994
その他			
計(F)	17,050	13,429	13,994

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	57,946	49,135	57,207

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数			
受益者負担額(千円)	16,937	13,312	13,876
受益者負担率(%)	22.6%	21.3%	19.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	—	—	—

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市営墓地の維持管理費用	単位	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	69,982	65,170	68,457
実績値	66,477	53,853	62,292

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市営墓地の使用区画数	単位	区画
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	—	—	20,212
実績値	—	—	19,064

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	利用者の利便性の向上や市民ニーズの把握に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	民間で実施できるものを委託することで、合理的、経済的で確実な施設管理に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	利用者の利便性・安全性の向上に努めている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	適正と考えているが、今後も市民の意見や他市町村の状況等を見ながら検討していく。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	今後も利用者の利便性・安全性の向上に努めるとともに、合葬墓などの新たな形態の墓地について研究していく。